

(その1/2)

第7回 徳島県立中央病院倫理審査委員会議事録

- 1 日時 令和4年12月19日(月) 18:00～18:55
- 2 場所 3階 会議室3
- 3 出席者 前川正彦 上原克之 楊河宏章 谷 洋江
尾崎修治 柴田啓志 柿内聡司 久米田慶子
東條正芳 宮本美恵 名西明美 中川佳織 小川薫
- 4 審議結果 申請8件中、4件承認、4件修正後承認
- 5 次回開催日時 令和5年1月30日(月)の予定 18:00～ 会議室3
次々開催日時 令和5年2月20日(月)の予定 18:00～ 会議室3

受付番号	審議事項	申請者 (科・職名・氏名)	結果	備考
15-25 (再変更)	大腸腫瘍患者に対するクルクミンの発癌予防臨床試験(無作為二重盲検試験) Japan colorectal tumor prevention study: randomized controlled trial of curcumin (J-CAP-C)	消化器内科	承認	
22-39	A病院看護師のアドバンス・ケア・プランニングに対する認識と現状	看護局	修正後承認	※
22-40	早期リハビリテーションプロトコル導入による看護師の意識・行動変容	看護局	修正後承認	※
22-41	日本放射線技術学会叢書IGRTの実践(仮)原稿に使用する放射線治療計画情報	放射線技術科	承認	
22-42	集中治療室入室患者における集中治療後症候群に関する実態調査と早期離床を含むリハビリテーション介入との関連を明らかにする単施設前向き観察研究	リハビリテーション技術科	修正後承認	※
22-43	手術室看護師教育の視聴覚教材とシュミレーション教育の有効性 ～COVID-19妊婦の緊急帝王切開手術の受け入れ準備の短縮化に向けて～	看護局	修正後承認	※

(その 2 / 2)

22-44	治療歴の多い再発難治性多発性骨髄腫患者および R5458-ONC-1826 第 II 相試験コホート 2 と同様の特徴を有する患者における実臨床の治療内容と成績に関する研究 A study to characterize treatment patterns and real-world outcomes in heavily pretreated patients with relapsed and refractory multiple myeloma (PRMM) and similar characteristics to patients in phase 2 cohort 2 of the R5458-ONC-1826 trial	血液内科	承認	
22-45	「がん診療の諸要因と予後の関連に関する研究」でのデータ利用承諾依頼	事務局	承認	

22-39 アンケートの回答についていずれかの選択肢に振り分けられるように修正すること。

22-40 プロトコル導入前後のアンケートで比較ができるように回収方法を工夫すること。

22-42 ①申請書の解析方法を修正すること。
②アンケートの質問項目を修正すること。

22-43 シュミレーション教育実施後のアンケートに同意するかしないかの項目を追加すること。

22-40: 小川委員が関係者である為、定足数に含まない(委員12名が承認)。

21-44: 尾崎委員が関係者である為、定足数に含まない(委員12名が承認)。